

平成28年度 第4回滋賀県総合教育会議

「学校と地域の連携協働」

～地域協働合校の取組を踏まえて～

平成28年9月7日

草津市教育委員会

教育長 川那邊 正

◆地域協働合校の基本理念

地 域

校区などを単位とした様々な生活範囲

協 働

子どもと大人が知恵を出し合い、協力して活動

合 校

社会の変化に対応するために学び合う「地域学習社会」

共 育 ち

★地域が支援する学校づくり

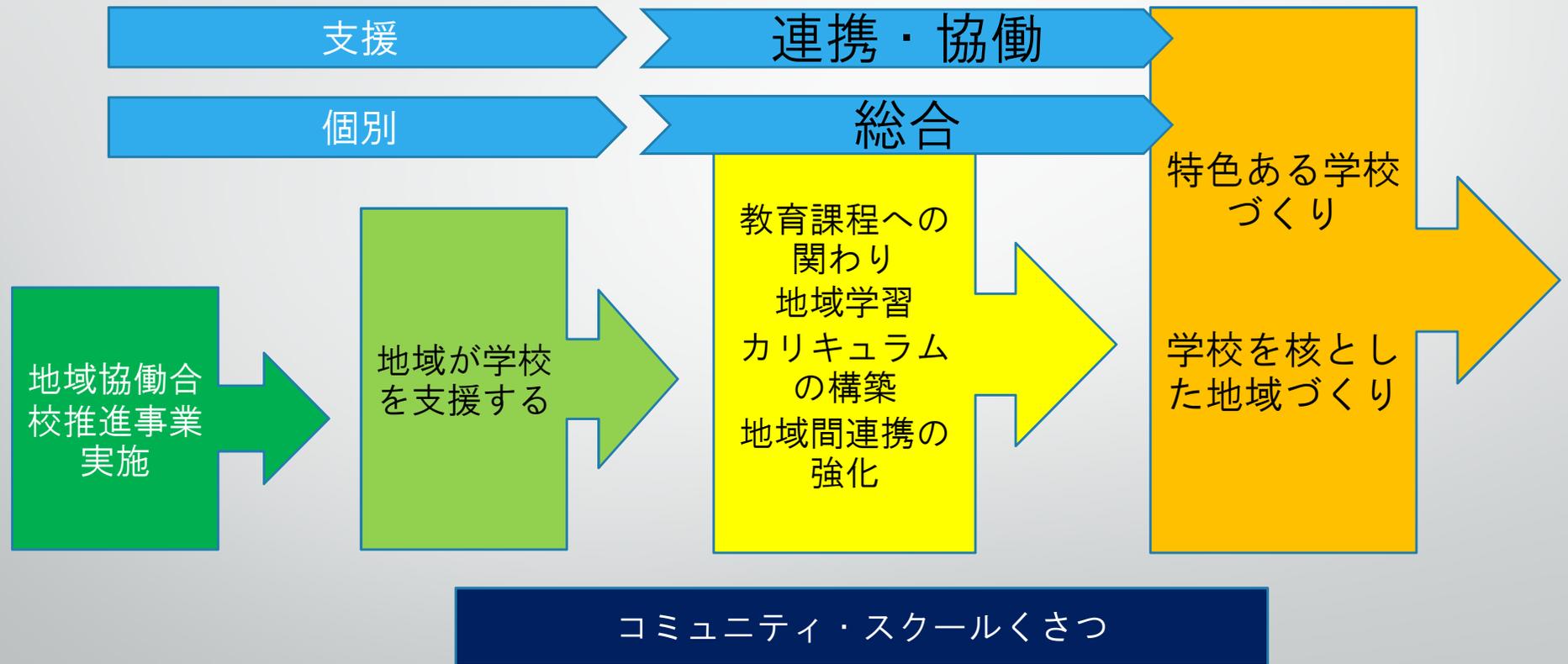
★地域で子どもが育つまちづくり



子どもと大人の
協働の姿



◆地域コーディネーターの位置付け



◆実践事例 1

- 郷土の伝統文化を生かして【常盤小学校】

特色ある産業「琵琶パール」体験



地域の伝承民話を聞く

自分たちが植えた田んぼに6万匹のフナの子魚を放流



田んぼを守る案山子を親子で製作

◆実践事例 2

- 地域コーディネーターのネットワークを生かして【草津第二小学校】

JAさんからの協力



保護者の方も遠方から参観



米作りにチャレンジ!



みんなで記念撮影



○広報活動の充実でつながりづくり【草津第二小学校】



◆実践事例 3

立命館大学との連携【志津南小学校】

環境課との連携【南笠東小学校】

スタジアムの地下に遺跡が！



子どもたちの絵画作品が構内に展示



夏休みを利用した地域と子どもたちの環境学習

震災後に結びついた二校の絆



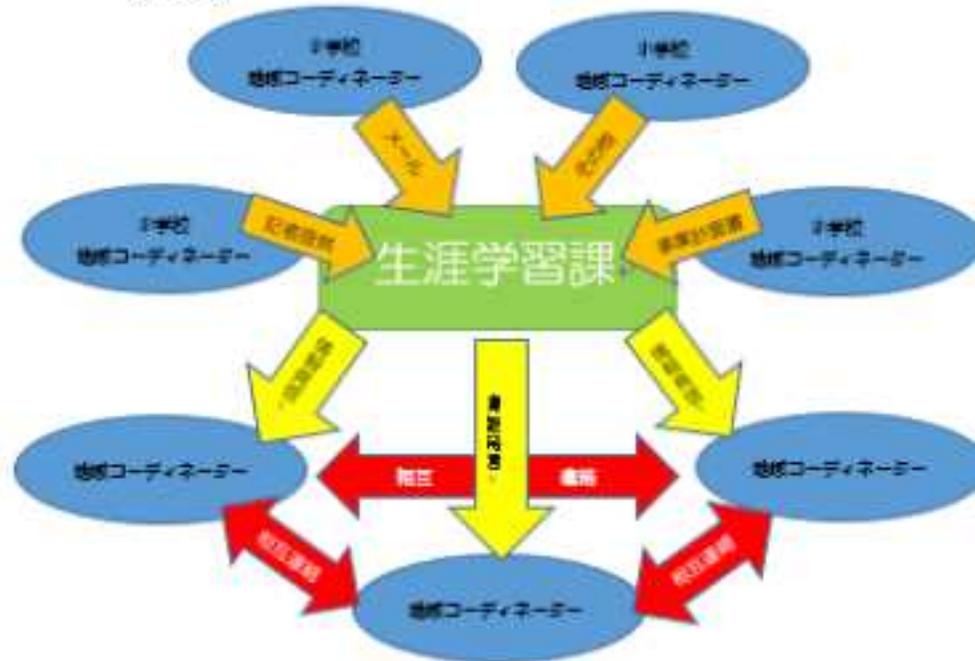
塩竈市立玉川中学校との交流【玉川中学校】

◆草津市の取組

地域コーディネットくさつ（仮称）

各校地域連携学校担当者や地域コーディネーターからの情報（記者発表、事業計画書、メール、その他）を生涯学習課で集約し、関係各地域コーディネーターにメール等による情報共有を行う。必要な情報については、その記録を、地域コーディネーター同士が個別に連絡を取り合って、活動の一助としていくシステム。

活用例



地域コーディネーター研修会



地域と学校の連携を考える研修会

協働通心～学校・家庭・地域
で通じ合う心～

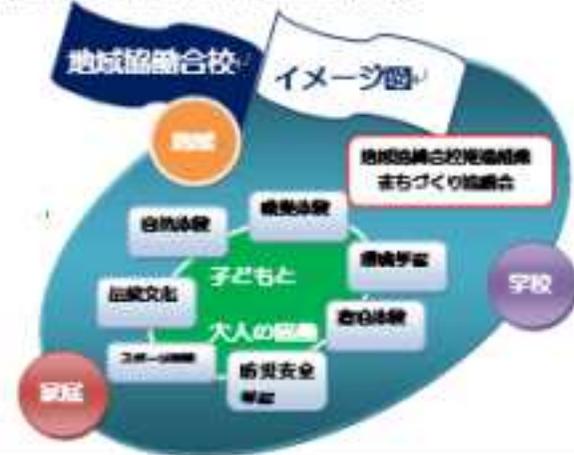
協働通心

平成27年
9月28日
発行元
藤原市教育委員会
生涯学習課

★みなさん★
「地域協働合校」って
知っていますか？

「地域協働合校」って聞いたことあるけど何？」その感じている人、意外と多いんじゃないでしょうか。

藤原市では平成10年度から「地域協働合校推進事業」を進めています。そして、市内のみなさんに「地域協働合校」のことをより広く知ってもらうために、生涯学習課から、このたび「協働通心」を発行することになりました。

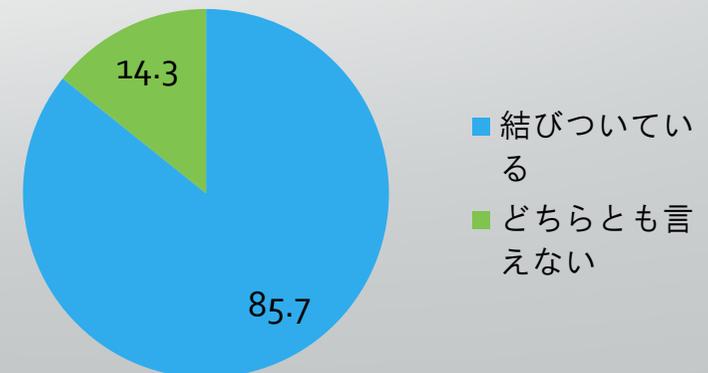


◆地域の人が学校の活動に参加してくれる割合



◆教職員の負担軽減について

平成27年度地域コーディネーター導入校(7校)



◆これまでの成果

児童生徒

保護者

地域

学校

◆ 今後に向けての課題

担当教員の事務量

校長のビジョンとリーダーシップ

教育委員会と市長部局の連携



ご清聴ありがとうございました